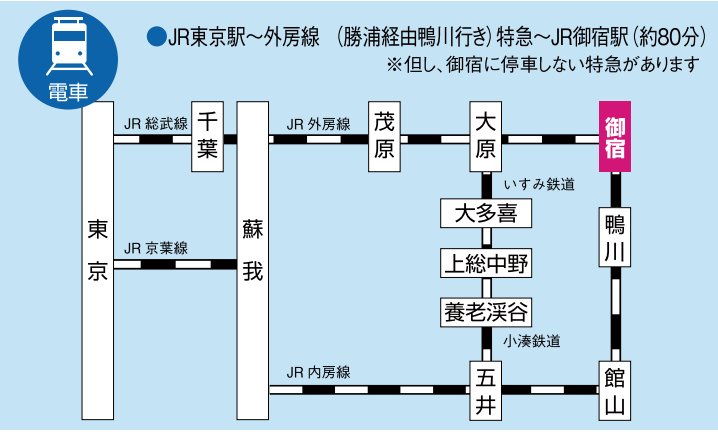
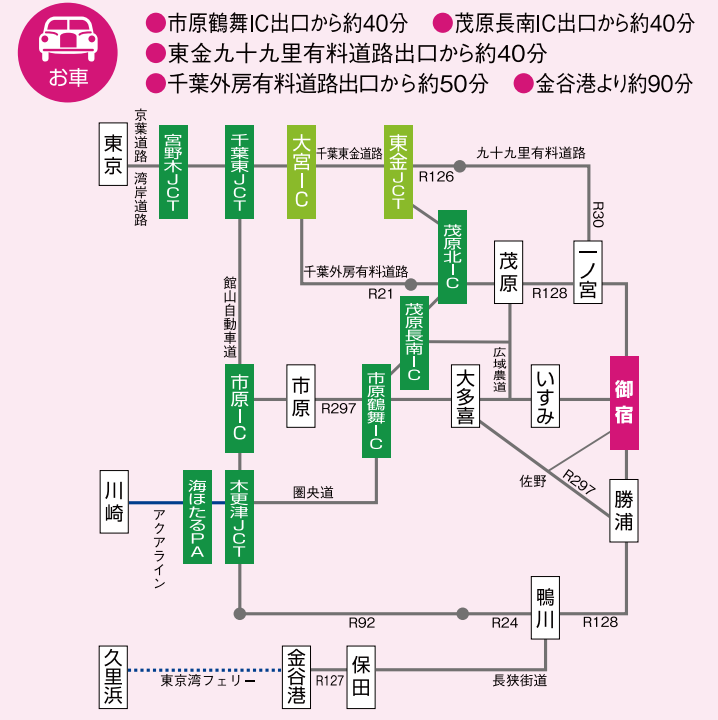


《お問合せ》御宿町歴史民俗資料館
〒299-5102 千葉県東隅郡御宿町久保2200
TEL. 0470-68-4311
○開館時間 午前9時～午後4時
○休 館 日 月曜日・国民の日・年末年始
（国民の日の祝日が月曜日にあたるときはその翌日）
○入 館 料 無料

せんになづかくようとう
④ 千人塚供養塔
御宿町新町区にある
共同墓地にある供養塔。
元禄 16 年 11 月 23 日に
発生した安房東南海底
を震源とした大地震と
大津波による犠牲者を
供養するためや、この
ような災害が二度と起こらないようにと願いを
込めて作られたのがこの供養塔である。

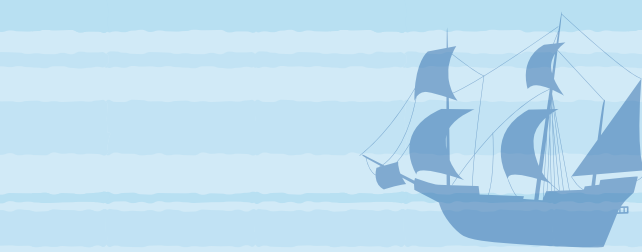
こうじょ たけなが し お ひ
⑤ 孝女 竹永志保の碑
縦 1.56m、横 1.07m
竹永志保は宝暦 7 年に現在の御宿町上布施
新宿に生まれた。幼いこ
ろに父と死別し、21 歳で
結婚したが、29 歳の時に
夫を病気で亡くした。親族
や故旧の人は再婚を勧めた
が、貞女は二夫に見えずと
固く拒み、一人で母親を養った。家に男手はな
く、貧しかったため志保は山仕事、田仕事を行
い、資金を得て、母の好きなそうめんや魚を買
い与えた。雨や嵐のときも苦労して母を養い続
けた志保は、多くの人から孝子節婦の模範とし
て称えられた。志保の没後 55 年経って、後世
に伝えようと布施村民によって碑が建てられた。

しんじょうしせきとう
⑥ 真常寺石塔
鎌倉で非業
の死を遂げた
かすきのすけ ひろつね
上総介広常の
供養塔と伝え
られている。

にち せい ぼく さんごくこうつうはっしょうきねんひ
① 日・西・墨三国交通発祥記念碑



けいちょう ねん がつまつ
慶長 14 年 9 月末当時スペイン領であったフィ
リピン諸島総督ドン・ロドリゴは任期を終え、ガ
レオン船サンフランシスコ号にてスペイン領で
あったメキシコへ帰国途中、嵐に遭い御宿町
岩和田の田尻沖で座礁した。このとき、岩和田
の人々が救助に向かい、乗組員 373 名のうち
317 名を救出した。岩和田で療養した一行は、
大多喜城主本多忠朝と徳川家康、秀忠の助けに
より、神奈川県の浦賀からメキシコへと無事に
帰国できた。
この出来事が、日本、スペイン、メキシコと
の友好のきっかけとなった。記念碑の建設は
大正 13 年に始まり、戦中には白い姿が目立つ
ため、黒く塗られたこともあった。記念碑建 立
50 周年となる昭和 53 年には、メキシコのホ
セ・ロペス・ポルティエヨ大統領が御宿に訪
れ、御宿とメキシコの友情をさらに深めた。この
とき、御宿とメキシコ南部のアカプルコは、姉妹
都市協定を結び、記念碑建立 70 周年を迎えた
際も盛大な式典が行われた。



じょうりくち
② ドン・ロドリゴ上陸地



いわだ たじり おき ざしろう
岩和田田尻沖で座礁したサンフランシスコ号
から救助されたドン・ロドリゴと乗組員たちが
日本に上陸したとされる場所が、千葉県指定
史跡となっている。
岩和田の人々は遭難者の救助と介護に尽くし
た。国境を越えた人類愛に満ちたお話は、御宿
町の誇りであり、伝承という形で子供たちに受
け継いでいる。

《ドン・ロドリゴ関連遺品》
③ サンフランシスコ号 櫓



1609 年 9 月 30 日夜、旧岩和田村の沖合い
で激しい雨風により遭難したサンフランシスコ
号に使われていた木材等は波により無くなって
しまったと考えられていたが、唯一、櫓が御宿
町に残っている。岩瀬酒造の住宅の梁にこの
櫓が使用されていると伝えられている。

しほんちやくしよくおおたきはんじんれつ の ず
⑩ 紙本著色大田喜藩陣列之図

縦 28.9cm、横 10.41m
嘉永の頃の行列図
であり、大田喜藩地
であった小浜海岸か
ら岩和田海岸に至る
防備の視察の様子が描かれたと考えられている。
巻末には 370 人の陣列を描いたと記されている。
当時、岩和田は大田喜藩に属しており御宿町に
関連した資料として、また、大筒や火縄銃といっ
た火器中心の幕末の藩の軍備の様子を理解する
資料として大変貴重なものである。

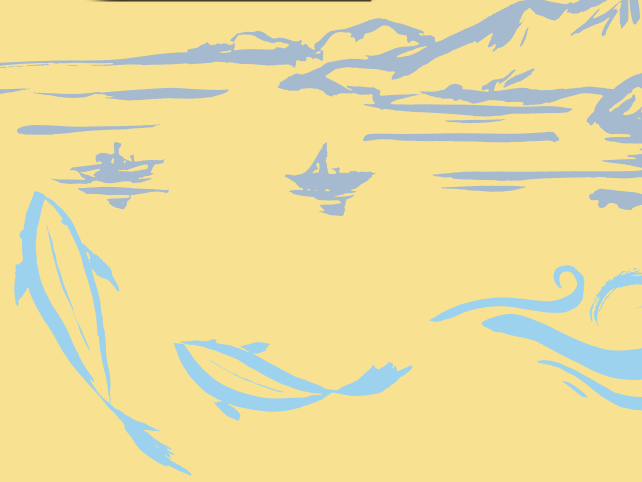
きゅうふせむらえ ず
⑪ 旧布施村絵図

縦 2.97m、横 2.6m
和紙をつないで描か
れている大きな地図で
あり、実谷、上布施、
下布施が描かれてい
る。絵図には、田・畑・山林・川・橋・堰・神社・
寺院・御倉・城址・村・集落・民家・天領・
小字などが細かに色分けされ、行屋・祠など記
されており、昔の実谷・布施地区の様子が分か
る貴重な資料となっている。

いせ さんぐう え ま
⑫ 伊勢参宮絵馬

縦 77cm、横 1.89m
上布施八幡神社に
は、大作絵馬が 11 点
奉納されている。中
でも天保 4 年の伊勢
大神宮参詣絵馬は門前市の賑わい、小屋の中で
楽器を弾く女性や参詣者の様子を描いた風俗画
で民俗資料としての価値も高い。

じゅうおうどうえんぎ
⑬ 十王堂縁起
元禄 9 年称名念佛
の道場として、妙音寺
より十王堂へ移転した



えんぎ おだんれんしゃきょうほまれしょうにんあずりりょう しる
縁起を、「昔蓮社 響 誉上人忍阿随良」が記した
もの。元禄 16 年の津波に関しても触れていて
郷土資料としての価値も高い。

かいあまぐいっしき
⑭ 貝海女具一式

しらほま とも ぼうそう あ ま
白浜と共に房総海女とし
て有名な御宿の海女がアワ
ビなど貝を採る際に使用
した道具一式である。半ト
ウロクとパンツという潜水
時の服装は御宿の海女特有のものであり、他の
地域の海女には見られない。若い後継者の皆無
となった現代において御宿の代名詞となった
海女の歴史を知る貴重な資料となっている。

おんじゅくのあまのぐんぞう
⑮ 御宿の海女の群像

故岩瀬禎之氏
による、御宿の
海女を被写体とし
た写真のネガ 31
点が指定されて
いる。昭和 31 年に日本美術展へ出品した際には、
内閣総理大臣賞を受賞した。

はわいでかせぎとこうかんけいしよるい
⑯ ハワイ出稼ぎ渡航関係書類

①旅券、②移民取扱人との契約書、③ハワイ
国弁理公使兼移住民事務局特派員との契約書、④
日本移民協会・本人・会社との契約書。
明治 18 年より、ハワイ国での砂糖きび栽培の
労働者不足に対し、日本からも 3 年間の契約
期間として官約移民として出稼ぎ人が渡航して
いた。当時の渡航に関する貴重な資料である。

せんかじまいりごしゅだいちよう
⑰ 千箇寺参御首題帳

甲斐 相州 武州 上総 下総 安房の国々
の日蓮宗各寺院を参詣した記録である。江戸
時代の庶民の信仰心がいかに深いものかを知る
貴重な資料である。